



EnergyWise CLI コマンド

- 「clear energywise」 (P.3-2)
- 「debug energywise」 (P.3-4)
- 「energywise (グローバル コンフィギュレーション)」 (P.3-6)
- 「energywise (インターフェイス コンフィギュレーション)」 (P.3-10)
- 「energywise domain」 (P.3-14)
- 「energywise query」 (P.3-16)
- 「snmp-server enable traps energywise」 (P.3-21)
- 「show energywise」 (P.3-23)



(注)

ここで挙げる例では、*interface-id* の形式は、タイプ スロットまたはモジュール番号/ポート番号です (例 : gigabitethernet 0/5)。インターフェイスを指定するには、お使いのデバイスのソフトウェア マニュアルを参照してください。

clear energywise

clear energywise neighbors および **clear energywise endpoints** 特権 EXEC コマンドを使用して、検出されたドメインメンバーのネイバーと IP エンドポイントを EnergyWise データベースから削除します。

clear energywise {endpoints [all | cached] | neighbors}

構文の説明

endpoints [all cached]	接続された EnergyWise-capable IP エンドポイントをクリアします。エージェントを実行していない PoE デバイスは削除されません。 <ul style="list-style-type: none"> （任意） all : 動作可能な、および動作不可能な（キャッシュされた）すべての EnergyWise エンドポイントを削除します。 （任意） cached : 動作不可能な（キャッシュされた）EnergyWise エンドポイントのみを削除します。
neighbors	検出されたドメインメンバーのネイバーを EnergyWise データベースから削除します。検出されたドメインメンバーが削除されると、ローカルドメインメンバーは接続されたすべてのネイバーの再検出をただちに開始します。

コマンド デフォルト

デフォルトはありません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(58)SE	endpoint [all cached] キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、2960 スイッチに追加されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン

ネイバーとエンドポイントがデータベースから削除されたことを確認するには、**show energywise neighbors** 特権 EXEC コマンドを使用します。



(注) ネイバーがスタティックに追加された場合は、**clear energywise neighbors** 特権 EXEC コマンドの影響を受けません。

例

次の例では、**clear energywise endpoints** 特権 EXEC コマンドの使用前と使用後の EnergyWise の子を示します。

エンドポイントのクリア前：

```
DomainMember# show energywise children
Module/
Interface  Role          Name          Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----  ----  -----  -----  -----  ---  ---  ----
          Switch      Switch        94.0 (W)  consumer  10  100  module
Gi0/12    Parent      Endpoint      12.0 (W)  consumer  10   50
endpoint
Gi0/14    IP Phone 7960  SEP000E833CB4E3  1.88 (W)  consumer  10   35  PoE
Gi0/15    IP Phone 7960  SEP0011920E0A05  1.775 (W) consumer  10   35  PoE
```

エンドポイントのクリア：

```
DomainMember# clear energywise endpoints all
Cleared all energywise endpoints
```

エンドポイントのクリア後：

```
DomainMember# show energywise children
Module/
Interface  Role          Name          Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----  ----  -----  -----  -----  ---  ---  ----
          Switch      Switch        94.0 (W)  consumer  10  100  module
Gi0/14    IP Phone 7960  SEP000E833CB4E3  1.88 (W)  consumer  10   35  PoE
Gi0/15    IP Phone 7960  SEP0011920E0A05  1.775 (W) consumer  10   35  PoE
```

関連コマンド

コマンド	説明
show energywise neighbors	EnergyWise のネイバーを表示します。

debug energywise

debug energywise 特権 EXEC コマンドを使用して、EnergyWise エンドポイントと管理ステーションをデバッグします。

debug energywise {debug | endpoint | ha | management | packet | trace}

構文の説明

debug	ドメイン上の無効なシーケンス番号や通信エラーなどのエラーを表示します。
endpoint	クライアントまたはエージェントを実行する EnergyWise エンドポイントの情報を表示します。接続されたエンドポイントの、一致しないドメイン名、秘密キー、およびシーケンス番号の検出に役立ちます。
ha	POWERNET ハイ アベイラビリティの情報を表示します。
management	認証失敗と、電力管理アプリケーションを実行する EnergyWise 管理ステーションに関する情報を表示します。
packet	パケット トレース情報を表示します。
trace	トレース メッセージを表示します。

コマンド デフォルト

EnergyWise のデバッグ機能はディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(53)SE1	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(54)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(58)SE	ha 、 packet 、 trace キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、2960 スイッチに追加されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。



注意

デバッグ出力には、CPU プロセスで高いプライオリティが与えられるので、システムが使用不能になる可能性があります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。このような時間帯を選んでデバッグを実行すると、**debug** コマンドの処理の負担によってシステム利用が影響を受ける可能性が少なくなります。

使用上のガイドライン

undebug energywise コマンドは **no debug energywise** コマンドと同じです。

スタック可能スイッチでデバッグ機能をイネーブルにした場合、デバッグ機能はスタック マスタでのみイネーブルになります。スタック メンバーのデバッグ機能をイネーブルにするには、**session switch-number** 特権 EXEC コマンドを使用してセッションをスタック マスタから開始します。スタック メンバーのコマンドラインプロンプトに **debug** コマンドを入力します。また、スタック マスタで **remote command stack-member-number LINE** 特権 EXEC コマンドを使用して、セッションを開始する前にメンバー スイッチのデバッグ機能をイネーブルにすることもできます。

energywise (グローバル コンフィギュレーション)

energywise グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して、ドメイン メンバーまたはエンドポイントに EnergyWise を設定します。EnergyWise をディセーブルにしたり、EnergyWise 設定を削除したりするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

energywise allow query {save | set}

energywise endpoint security {none | shared-secret [0 | 7] password}

energywise {importance importance | keywords word,word,... | level level | name name | neighbor {hostname| ip-address} udp-port-number | role role}

energywise management security shared-secret [0 | 7] mgmt-password [port tcp-port-number]

no energywise {allow query {save | set} | endpoint | importance | keywords | level | management | name | neighbor | role}

構文の説明

allow query {save | set} ドメイン メンバーを、管理ステーションまたは別のドメイン メンバーからのクエリーに応答するように設定します。

- **save** : 実行コンフィギュレーションを保存するクエリーに応答します。
- **set** : 電力レベルまたは EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答します。

endpoint security エンドポイントのセキュリティ モードを設定します。

{none | shared-secret [0 | 7] password}

- **none** : セキュリティをディセーブルにします。
 - **shared-secret** : 接続されているドメイン メンバーとのセキュアな通信を確保するためのパスワードを使用します。
 - (任意) **0** : プレーンテキストのパスワードを使用します。
 - (任意) **7** : 非表示のパスワードを使用します。
- 0** と **7** のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 **0** が使用されます。
- *password* について
 - 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。
 - 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。

importance importance 重要度を設定します。

指定できる範囲は 1 ~ 100 です。

keywords word,word,... 少なくとも 1 つのキーワードを割り当てます。

複数のキーワードを割り当てる場合は、各キーワードをカンマで区切ります。キーワードの区切り文字としてスペースを使用しないでください。

- 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。
- 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。

level level

電力レベルを設定します。

指定できる範囲は 0 ~ 10 です。

name <i>name</i>	EnergyWise 固有の名前を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
neighbor { <i>hostname</i> <i>ip-address</i> } <i>udp-port-number</i>	スタティック ネイバーを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) のホスト名 (<i>hostname</i>) または IP アドレス (<i>ip-address</i>)。 クエリーを送受信する UDP ポート (<i>udp-port-number</i>)。指定できる範囲は 1 ~ 65000 です。
role <i>role</i>	EnergyWise ドメインでのロールを指定します。たとえば、 <i>lobby.b20</i> とします。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
management security shared-secret [0 7] <i>mgmt-password</i> [port <i>tcp-port-number</i>]	ドメインと通信する管理ステーションの管理パスワードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> (任意) 0 : プレーンテキストのパスワードを使用します。 (任意) 7 : 非表示のパスワードを使用します。 0 と 7 のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 0 が使用されます。 <i>mgmt-password</i> について <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 (任意) port <i>tcp-port-number</i> : 管理アクセス用の TCP ポートを指定します。指定できるポート番号の範囲は 1025 ~ 65535 です。

コマンド デフォルト

EnergyWise はディセーブルになっています。

ドメイン メンバーのインターフェイスは、**save** クエリーに応答しません。

インターフェイスは、**set** クエリーに応答します。

エンドポイントおよび管理パスワードは設定されません。

重要度は 1 です。

キーワードは定義されません。

電力レベルは 10 です。

tcp-port-number は 43440 です。

名前はホスト名です。

ネイバーは割り当てられません。

ロールはモデル番号です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
	12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
	12.2(52)SE	Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチ <ul style="list-style-type: none"> • management udp-port-number キーワードは management security shared-secret [0 7] shared-secret port tcp-port-number キーワードに替わりました。 • allow query {save set} キーワードが追加されました。
	12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
	12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
	12.2(54)SG	Catalyst 4500 スイッチ <ul style="list-style-type: none"> • management udp-port-number キーワードは management security shared-secret [0 7] shared-secret port tcp-port-number キーワードに替わりました。 • allow query {save set} キーワードが追加されました。
	15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン

ドメインにドメイン メンバーを追加すると、そのドメイン メンバーで EnergyWise がイネーブルになります。

ドメインに PoE スイッチを追加すると、そのスイッチと PoE ポート上で EnergyWise がイネーブルになります。

非表示の（暗号化された）パスワードを設定する場合は、**energywise management security shared-secret 7 mgmt-password [port tcp-port-number]** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力する前に、**service password-encryption** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。

no energywise level コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは電力レベルをすぐにデフォルトに変更しません。電力レベルは、ドメイン メンバーの再起動時、または **energywise level level** コマンドを入力したときに変更されます。

例

次の例では、EnergyWise をイネーブルにし、ドメインに IP Phone を割り当て、ドメイン パスワードと管理パスワードを設定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember (config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
DomainMember (config)# energywise importance 50
DomainMember (config)# energywise keywords lab1,devlab
DomainMember (config)# service password-encryption
DomainMember (config)# energywise management security shared-secret 7 cisco port 60500
DomainMember (config)# energywise name Device01
DomainMember (config)# energywise neighbor member-21 43440
DomainMember (config)# energywise role role.labaccess
DomainMember (config)# energywise allow query save
DomainMember (config)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
show energywise	EnergyWise の設定とステータスを表示します。
show energywise domain	ドメイン メンバーまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。
show energywise recurrences	繰り返しイベントの設定とステータスを表示します。

energywise (インターフェイス コンフィギュレーション)

energywise インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、ドメイン メンバーのポートに EnergyWise を設定します。EnergyWise をディセーブルにしたり、EnergyWise 設定を削除したりするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

energywise [activitycheck | allow query set | importance *importance* | keywords *word,word,...* | level *level* [recurrence importance *importance* {at *minute hour day_of_month month day_of_week* | time-range *time-range-name*}] | name *name* | role *role*]

no energywise [activitycheck | allow query set | importance | keywords [*word,word,...*] | level [*level* recurrence [importance *importance* {at *minute hour day_of_month month day_of_week* | time-range *time-range-name*}]] | name [*name*] | role [*role*]]



(注)

ここで挙げる例では、*interface-id* の形式は、タイプスロットまたはモジュール番号/ポート番号です (例 : gigabitethernet 0/5)。インターフェイスを指定するには、お使いのデバイスのソフトウェア マニュアルを参照してください。

構文の説明

activitycheck	<p>(任意) ポートの電源を切断する前に、PoE ポートに接続している Cisco IP Phone がトラフィックを送信または受信しなくなるまで待機するようにドメイン メンバーを設定します。</p> <p>(注) ドメイン メンバーでは、IP Phone が保留状態であるかどうかを判断できません。</p> <p>このコマンドは次のスイッチでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Catalyst 6500 スイッチ (特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください)。 Catalyst 4500 スイッチ。 Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3650-E、3560、および 2960 スイッチ。 Cisco EtherSwitch サービス モジュール (NME-16ES-1G、NME-16ES-1G-P、NME-X-23ES-1G、NME-X-23ES-1G-P、NME-XD-24ES-1S-P、NME-XD-48ES-2S-P)。 拡張 Cisco EtherSwitch サービス モジュール (SM-D-ES2-48、SM-D-ES3-48-P、SM-D-ES3G-48-P、SM-ES2-16-P、SM-ES2-24、SM-ES2-24-P、SM-ES3-16-P、SM-ES3-24-P、SM-ES3G-16-P、SM-ES3G-24-P)。
allow query set	<p>(任意) このコマンドは、インターフェイスが管理ステーションや別のドメイン メンバーからクエリーを受信した場合に、電力レベルおよび EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答するようにインターフェイスを設定します。</p>

importance <i>importance</i>	(任意) ポートの重要度を設定します。 指定できる範囲は 1 ~ 100 です。
keywords <i>word,word</i>	(任意) ポートに少なくとも 1 つのキーワードを割り当てます。 複数のキーワードを割り当てる場合は、各キーワードをカンマで区切ります。キーワードの区切り文字としてスペースを使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
level <i>level</i>	(任意) ポートの電力レベルを設定します。 指定できる範囲は 0 ~ 10 です。 <ul style="list-style-type: none"> エンドポイントの電源を切断するには、0 を入力します。 エンドポイントの電源を投入するには、次のように入力します。 <ul style="list-style-type: none"> PoE エンドポイントの場合は 10 を入力します。 PoE エンドポイントでない場合は、1 ~ 10 の電力レベルを入力します。エンドポイントで適切な処置が取られます。
recurrence importance <i>importance {at minute hour day_of_month month day_of_week time-range time-range-name}</i>	(任意) 電源投入または電源切断のイベントをスケジューリングします。 <ul style="list-style-type: none"> importance importance : エンドポイントの重要度の値が、指定した重要度の値以下である場合に、イベントが発生します。指定できる範囲は 1 ~ 100 です。 at minute hour day_of_month month day_of_week : 繰り返しイベントの時間 (24 時間形式) を cron 形式で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <i>minute</i> : 指定できる範囲は 0 ~ 59 です。* をワイルドカードとして使用します。 <i>hour</i> : 指定できる範囲は 0 ~ 23 です。* をワイルドカードとして使用します。 <i>day_of_month</i> : 指定できる範囲は 1 ~ 31 です。* をワイルドカードとして使用します。 <i>month</i> : 指定できる範囲は 1 (1 月) ~ 12 (12 月) です。* をワイルドカードとして使用します。 <i>day_of_week</i> : 指定できる範囲は 0 (日曜日) ~ 7 (日曜日) です。* をワイルドカードとして使用します。 time-range time-range-name : 繰り返しイベントの時間範囲名を指定します。 イベントにはドメイン メンバーの時間が使用されます。
name <i>name</i>	(任意) EnergyWise 固有のポート名を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、%、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
role <i>role</i>	(任意) ドメインでのポートのロールを指定します (例 : <i>lobbyport</i>)。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、%、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。

コマンド デフォルト

EnergyWise はディセーブルになっています。

ドメイン メンバーは、ポートの電源を切断する前に、PoE ポートに接続している Cisco IP Phone がトラフィックを送受信しなくなるまで待機します。

ドメイン メンバーは、電力レベルと EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答します。

重要度は 1 です。

キーワードは定義されません。

電力レベルは 10 です。

繰り返しイベントは設定されません。

名前は、ポート名の短縮バージョンになります。たとえば、Gigabit Ethernet 1/0/2 の場合は Gi1.0.2 となります。

ロールはモデル番号です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SE	activitycheck 、 allow query set 、および recurrence time-range time-range-name キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、2960 スイッチに追加されました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(54)SG	activitycheck 、 allow query set 、および recurrence time-range time-range-name キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン

energywise activitycheck コマンドを使用する前に、「[アクティビティ チェックの使用 \(P.2-12\)](#)」を参照してください。

no energywise level コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは電力レベルをすぐにデフォルトに変更しません。電力レベルは、ドメイン メンバーの再起動時、または **energywise level level** コマンドを入力したときに変更されます。

繰り返しイベントに対して、cron 形式 (*minute hour day_of_month month day_of_week*) を使用して複数の日付と時間を設定するには、次の操作を行います。

- 値の間にスペースを入れず、**1,3,4,7,8** のようにカンマ (,) を使用して値のリストを指定します。
- **1-6** のように、ダッシュ (-) を使用して値の範囲を指定します (**1,2,3,4,5,6** と同じ)。
- ワイルドカードにアスタリスク (*) を使用します。

- 特定数の値をスキップするには、スラッシュ (/) を使用します。次に例を示します。
 - 15 分おきに発生するイベントの場合は、***15 * * * *** と入力します。
 - 20 分おきに発生するイベントの場合は、**0-59/3 * * * *** または **0,20,40** と入力します。
 - 毎時間発生するイベントの場合は、***/61 * * * *** と入力します。
 - 3 時間おきに発生するイベントの場合は、*** */3 * * * *** または **0,3,6,9,12,15,18,21** と入力します。

energywise level level recurrence importance importance at minute hour day_of_month month day_of_week コマンドで、**day_of_month** および **day_of_week** を指定する方法については、「[繰り返し](#)」(P.2-2) を参照してください。

例

この例では、EnergyWise をポートでイネーブルにして設定する方法と、繰り返しイベントを設定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember(config)# service password-encryption
DomainMember(config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
DomainMember(config)# time-range onfirstfloor
DomainMember(config-time-range)# absolute start 0:00 1 August 2009
DomainMember(config-time-range)# periodic weekdays 6:00
DomainMember(config-time-range)# periodic weekend 9:00
DomainMember(config)# time-range offfirstfloor
DomainMember(config-time-range)# absolute start 0:00 1 August 2009
DomainMember(config-time-range)# periodic weekdays 20:00
DomainMember(config-time-range)# periodic weekend 18:00
DomainMember(config)# interface gigabitethernet0/3
DomainMember(config-if)# energywise level 10 recurrence importance 70 time-range
onfirstfloor
DomainMember(config-if)# energywise level 0 recurrence importance 70 time offfirstfloor
DomainMember(config-if)# energywise name floor.1
DomainMember(config-if)# energywise role pc-mgr
DomainMember(config-if)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
absolute	繰り返しイベントに特定の日時を設定します。
show energywise	EnergyWise の設定とステータスを表示します。
show energywise domain	ドメイン メンバーまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。
show energywise recurrences	繰り返しイベントの設定とステータスを表示します。
periodic	繰り返しイベントに週単位の日時を設定します。
time-range	繰り返しイベントの時間範囲に名前を割り当てます。

energywise domain

ネットワーク デバイスまたはエンドポイントでの EnergyWise のイネーブル化、ドメインへのネットワーク デバイスまたはエンドポイントの割り当て、ドメインのセキュリティ モードの設定、ドメインパスワードの設定には、**energywise domain** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。EnergyWise をディセーブルにしたり、EnergyWise 設定を削除したりするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
energywise domain domain-name security {ntp-shared-secret | shared-secret} [0 | 7]
  shared-secret [protocol udp port udp-port-number [interface interface-id | ip
  ip-address]]
```

no energywise domain

構文の説明

domain <i>domain-name</i>	指定した <i>domain-name</i> を持つドメインに、ネットワーク デバイスまたはエンドポイントを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
security { ntp-shared-secret shared-secret } [0 7] <i>shared-secret</i>	ドメインのセキュリティ モードと、ドメイン内のすべての通信を認証するためのドメイン パスワードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ntp-shared-secret : Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) による強力なパスワードを使用します。メンバー間に ±30 秒の時間差があると、ドメイン メンバーまたはエンドポイントはイベントをドロップします。 shared-secret : NTP を使用しない強力なドメイン パスワードを設定します。 (任意) 0 : プレーンテキストのパスワードを使用します。 (任意) 7 : 非表示のパスワードを使用します。 0 と 7 のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 0 が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <i>shared-secret</i> について <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
protocol udp port <i>udp-port-number</i>	(任意) 通信プロトコルとして UDP を指定し、ドメインと通信する UDP ポートを指定します。 指定できる範囲は 1 ~ 65000 です。
interface <i>interface-id</i>	(任意) IP アドレスが動的に割り当てられている場合、ドメインと通信するポートを指定します。 <i>interface-id</i> を指定することを推奨します。ブリッジ型ネットワークでは、このコマンドを使用してください。
ip <i>ip-address</i>	(任意) インターフェイスが Switched Virtual Interface (SVI; スイッチ仮想インターフェイス) であり、VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランッキング プロトコル) プルーニングがイネーブルである場合、ドメインと通信する IP アドレスを指定します。ルーテッド ネットワークでは、このコマンドを使用してください。

コマンド デフォルト EnergyWise はディセーブルになっており、ネットワーク デバイスまたはエンドポイントはドメインに割り当てられません。

ドメイン パスワードは設定されません。

`udp-port-number` は 43440 です。

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SE	Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで、 secret [0 7] password キーワードが security {ntp-shared-secret shared-secret} [0 7] shared secret キーワードに替わりしました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(54)SG	Catalyst 4500 スイッチで、 secret [0 7] password キーワードが security {ntp-shared-secret shared-secret} [0 7] shared-secret キーワードに替わりしました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン `energywise domain domain-name security {ntp-shared-secret | shared-secret} [0 | 7] shared-secret` コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは管理ステーションとの通信用に使用可能な最初のポートを選択します。

非表示の (暗号化された) パスワードを設定する場合は、**energywise management security shared-secret 7 mgmt-password [port tcp-port-number]** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力する前に、**service password-encryption** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。

例 次の例では、EnergyWise をイネーブルにし、`domain-name` および `shared-secret` を設定し、IP アドレスを指定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember (config)# service password-encryption
DomainMember (config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show energywise</code>	EnergyWise の設定とステータスを表示します。
	<code>show energywise domain</code>	ネットワーク デバイスまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。

energywise query

energywise query 特権 EXEC コマンドを使用して、電源情報を表示し、ドメイン メンバーの電力レベルを設定します。

energywise query analyze domain *domain-name*

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **collect** {**delta** | **usage**} [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **set level** *level* [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **sum** {**delta** | **usage**} [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **wol** **mac** *mac-address* [**password** *password* | **port** *tcp-port-number* [**password** *password*]]

構文の説明

analyze domain <i>domain-name</i>	ドメインのサイズやメンバーとエンドポイントの数など、ドメインについての情報を分析して表示するためのクエリーを実行します。
importance <i>importance</i>	重要度の値が、指定した値以下であるドメイン メンバーまたはエンドポイントだけが、クエリーに応答します。 <i>importance</i> の範囲は 1 ~ 100 です。
keywords <i>word,word,...</i>	1 つ以上のキーワードに基づいて結果をフィルタリングします。 複数のキーワードを指定するときは、各キーワードをカンマで区切ります。キーワード間にスペースを使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
name <i>name</i>	名前に基づいて結果をフィルタリングします。ワイルドカードを使用する場合は、* を使用するか、または <i>name*</i> のように名前のフレーズの末尾にアスタリスクを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。
collect { delta usage }	ドメイン メンバーとエンドポイントからの電力消費量情報をワット (W) 単位で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> delta : 仮定 (what-if) 計算用に電力レベルごとの実際の電力消費量と最大電力消費量の差と一緒に、デルタ ベクトルを表示します。 usage : 実際の電力消費量を表示します。
all	(任意) すべての消費タイプの EnergyWise デバイスを表示します。
consumer	(任意) 電力を消費するデバイス (スイッチなど) が表示されるように結果をフィルタリングします。これがデフォルトの消費タイプです。

meter	(任意) パススルー電力を測定するデバイス (接続されたデバイスに電源から電力を送信する PDU など) が表示されるように結果をフィルタリングします。
producer	(任意) 電力を生成するデバイス (ソーラー パネルなど) が表示されるように結果をフィルタリングします。
timeout timeout	(任意) 管理ステーションがクエリーの結果を待機する秒数を設定します。指定できる範囲は 1 ~ 180 です。
set level level	PoE ポートを含む、ドメイン メンバーまたはエンドポイントの電力レベルを設定します。指定できる範囲は 0 ~ 10 です。
sum {delta usage}	ドメイン メンバーおよびエンドポイントからの電力消費量情報の要約を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • delta : デルタ ベクトルを表示します。 • usage : 実際の電力消費量を表示します。
wol mac mac-address	MAC アドレスに基づいて結果をフィルタリングし、一致した MAC アドレスを持つデバイスの電源のみを投入します。
password password	(任意) WoL-enabled エンドポイントのパスワードを設定します。パスワードの長さは、6 文字です。
port port-number	(任意) EnergyWise ドメインと通信するポート番号を指定します。

コマンド デフォルト

timeout 値は 6 秒です。
port-number は 7 です。
消費タイプは **consumer** です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SE	timeout timeout キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(54)SG	timeout timeout キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。
12.2(55)SE	デフォルトの <i>timeout</i> 値が 3 秒から 6 秒に変更されました。
12.2(58)SE	wol mac mac-address 、 port port-number 、 password password 、 analyze domain domain-name キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン



注意

このクエリーを使用する際は、十分注意してください。このクエリーは、コマンドの入力対象のドメインメンバーと、クエリー条件に一致する他のドメインメンバーおよびエンドポイントに影響を及ぼします。

energywise query importance 特権 EXEC コマンドの *timeout* 値が短すぎると、ドメインメンバーおよびエンドポイントがクエリーに応答するとき、管理ステーションはクエリー結果を受信しません。たとえば、特定の電話機の電源を切断する場合、**energywise query importance** コマンドの *timeout* 値が短すぎると、その電話機の電源は切断されません。

クエリーを **keywords *** を使用して実行しないでください。結果が生成されません。

WoL マジック パケットの送信時にデバイスの場所が不明である場合は、**energywise query importance 100 name * wol mac mac-address** コマンドを使用して、パケットをすべてのドメインメンバーに送信します。

例

次の例では、名前を基準にフィルタを適用する方法を示します。

```
DomainMember# energywise query importance 50 name phone* collect usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
```

Host	Name	Usage	Level	Imp
2.2.2.21	phone	0.0 (W)	10	1
2.2.2.21	phone	15.4 (W)	10	1
2.2.2.21	phoneA	0.0 (W)	10	1
2.2.2.22	phone	0.0 (W)	10	1
2.2.2.21	phoneB	0.0 (W)	10	1
2.2.2.22	phoneC	15.4 (W)	10	1
2.2.2.21	phone	0.0 (W)	10	1
2.2.2.23	phoneD	15.4 (W)	10	1
2.2.2.21	phone	0.0 (W)	10	1

Queried: 9 Responded: 9 Time: 0.26 seconds

```
DomainMember# energywise query importance 80 name * sum usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
```

```
Total Usage
-----
346.3 (W)
Queried: 147    Responded: 147    Time: 0.121 seconds
```

```
DomainMember# energywise query importance 90 name lobby* collect usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
```

Host	Name	Usage	Level	Imp
2.2.4.30	lobbyInterface.17	10.0 (W)	10	1
2.2.6.20	lobbypc.17	200.0 (W)	8	90

Queried: 2 Responded: 2 Time: 0.7 seconds

```

DomainMember# energywise query importance 90 name Fa1.0.4* sum usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
Total Usage
-----
129.0 (W)
Queried: 10    Responded: 10    Time: 0.6 seconds

```

次の例では、ドメインでのデルタ値の要約および電力変化の可能性を示します。

```

DomainMember# energywise query importance 90 name * collect delta
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
Level  Label      Delta Power (W)
-----  -----
0       Shut          -12.9
1       Hibernate    +723.8
2       Sleep         +723.8
3       Standby       +723.8
4       Ready         +723.8
5       Low           +723.8
6       Frugal        +723.8
7       Medium        +723.8
8       Reduced       +723.8
9       High          +723.8
10      Full          +723.8

Queried: 48    Responded: 48    Time: 0.15 seconds

```

次の例では、すべてのドメインメンバーおよびエンドポイントの電力レベルを変更する方法を示します。

```

DomainMember# energywise query importance 90 name * set level 0
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!
Success rate is (48/48) setting entities

Queried: 48    Responded: 48    Time: 0.996 seconds

DomainMember# energywise query importance 90 name * set level 10
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!
Success rate is (48/48) setting entities
Queried: 48    Responded: 48    Time: 0.996 seconds

```

次の例は、キーワードを使用して結果をフィルタリングする方法を示します。

```

DomainMember(config)# interface gigabitethernet0/2
DomainMember(config-if)# energywise keywords lobby,sattelite
DomainMember(config-if)# energywise keywords public
DomainMember(config-if)# end
DomainMember# show running-config interface gigabitethernet0/2
!
interface GigabitEthernet0/2
  energywise level 0 recurrence importance 90 at 0 8 * * *
  energywise level 10 recurrence importance 90 at 0 20 * * *
  energywise importance 50
  energywise role role.lobbyaccess
  energywise keywords lobby,sattelite,public
  energywise name lobbyInterface.2
end

```

energywise query

```
DomainMember# energywise query importance 90 keyword lobby collect usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
```

Host	Name	Usage	Level	Imp
2.2.4.30	lobbyInterface.17	15.4 (W)	10	1
2.2.5.30	pc.1	200.0 (W)	8	85
2.2.6.30	pc.2	200.0 (W)	8	85

```
Queried: 3    Responded: 3    Time: 1.1 seconds
```

```
DomainMember# energywise query importance 90 keyword lobby sum usage
EnergyWise query, timeout is 3 seconds:
```

```
Total Usage
-----
415.4 (W)
```

```
Queried: 3    Responded: 3    Time: 0.11 seconds
```

次の例では、宛先指定された WoL マジック パケットを送信する方法を示します。

```
Queried: 148    Responded: 148    Time: 5.119 seconds
DomainMember# energywise query importance 100 keyword PC wol mac 0123.4567.89ab
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
Success rate is (1/1) setting entities
Queried: 1    Responded: 1    Time: 4.31 seconds
```

snmp-server enable traps energywise

ドメインメンバーで EnergyWise トラップの Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 通知の送信、または Network Management System (NMS; ネットワーク管理システム) への要求の通知を可能にするには、**snmp-server enable traps energywise** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

snmp-server enable traps energywise [event-occured] [level-change] [neighbor-added] [neighbor-deleted]

no snmp-server enable traps energywise [event-occured] [level-change] [neighbor-added] [neighbor-deleted]

構文の説明

event-occured	(任意) EnergyWise のイベント トラップをイネーブルにします。
level-change	(任意) EnergyWise の電力レベル変化トラップをイネーブルにします。
neighbor-added	(任意) ネイバーが追加されると EnergyWise のトラップをイネーブルにします。
neighbor-deleted	(任意) ネイバーが削除されると EnergyWise のトラップをイネーブルにします。

コマンド デフォルト

EnergyWise のトラップ送信はディセーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

使用上のガイドライン

トラップを受信するホスト (Network Management System (NMS; ネットワーク管理システム)) を指定するには、**snmp-server host** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。

キーワードを指定しないと、EnergyWise のトラップすべてがイネーブルになります。

show energywise または **show running-config** 特権 EXEC コマンドを入力すると設定を確認できます。

例

EnergyWise のトラップを NMS に送信するには、次のように入力します。

```
DomainMember(config)# snmp-server enable traps energywise
```

EnergyWise のイベント トラップのみを NMS に送信するには、次のように入力します。

```
DomainMember(config)# snmp-server enable traps energywise event-occured
```

関連コマンド

コマンド	説明
show energywise	EnergyWise の設定とステータスを表示します。
show running-config	実行中のコンフィギュレーションを表示します。

show energywise

show energywise 特権 EXEC コマンドを使用して、EnergyWise の設定、ドメイン メンバーのステータス、およびエンドポイントに接続しているドメイン メンバー ポートのステータスを表示します。

show energywise [categories | children [provisioned] | domain | events | level [children | current [children] | delta [children]] | neighbors | recurrences | statistics | usage [children] | version]



(注)

ここで挙げる例では、*interface-id* の形式は、*タイプスロットまたはモジュール番号/ポート番号* です (例 : gigabitethernet 0/5)。インターフェイスを指定するには、お使いのデバイスのソフトウェア マニュアルを参照してください。

構文の説明

categories	(任意) 電力レベルを表示します。
children [provisioned]	(任意) 接続しているエンドポイントのステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • provisioned : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントに関する EnergyWise 情報の要約を表示します。
domain	(任意) ドメインの名前、ドメイン名、プロトコル、IP アドレス、および UDP ポートを表示します。
events	(任意) ドメイン内の他のメンバーに送信されたイベント (メッセージ) のうちの最新の 10 件を表示します。
level [children current [children] delta [children]	(任意) 実際の電力レベルを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力レベル。 • current : ドメイン メンバーの実際の電力レベル。 (任意) children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力レベル。 • delta : ドメイン メンバーのデルタ ベクトル。 (任意) children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントのデルタ ベクトル。
neighbors	(任意) ドメイン メンバーのネイバー テーブルを表示します。
recurrences	(任意) 繰り返しイベントに関する EnergyWise の設定とステータスを表示します。
statistics	(任意) イベントおよびエラーのカウンタを表示します。
usage [children]	(任意) ドメイン メンバーの実際の電力を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力を表示します。
version	(任意) EnergyWise のバージョンを表示します。

コマンド モード

特権 EXEC

■ show energywise

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。
12.2(50)SE	このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。
12.2(52)SE	children provisioned キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。
12.2(52)SG	このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。
12.2(53)SE2	このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。
12.2(54)SG	children provisioned キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。
15.0(1)M2	このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。

例

```
DomainMember# show energywise
Module/Interface  Role           Name           Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----
WS-C3560G-48PS   NRGYZ-TB-09   130.0 (W)     consumer      10       1    module
```

表 3-1 show energywise フィールドの説明

文字	説明
Module/ Interface	モジュールまたはインターフェイスの ID
Role	ドメイン メンバーのロール
Name	ドメイン メンバーの名前
Usage	ワット (W) 単位の電力消費量
Category	ドメイン メンバーの消費タイプ
Lvl	ドメイン メンバーの電力レベル
Imp	ドメイン メンバーの重要度
Type	ドメイン メンバーのデバイス タイプ

```
DomainMember# show energywise children
Module/Interface  Role           Name           Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----
WS-C3750G-24PS   NRGYZ-FANOUT-00-1  103.0 (W)     consumer      10       1    module
WS-C3750G-48TS   NRGYZ-FANOUT-00-2  152.0 (W)     consumer      10       1    module
WS-C3750G-48TS   NRGYZ-FANOUT-00-3  152.0 (W)     consumer      10       1    module
WS-C3750G-48TS   NRGYZ-FANOUT-00-7  152.0 (W)     consumer      10       1    module
Total Displayed: 4      Usage: 559.0
```


DomainMember# show energywise children provisioned

Module/Interface	Role	Name	Usage	Category	Lvl	Imp	Type
-----	----	----	-----	-----	---	---	----
	WS-C3560G-48PS	NRGYZ-TB-09	130.0 (W)	consumer	10	1	module
Gi0/1	interface	Gi0.1	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/2	interface	Gi0.2	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/3	interface	Gi0.3	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/4	interface	Gi0.4	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/5	interface	Gi0.5	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/6	interface	Gi0.6	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/7	interface	Gi0.7	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/8	interface	Gi0.8	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE
Gi0/9	interface	Gi0.9	0.0 (W)	consumer	10	1	PoE

<output truncated>

Total Displayed: 48 Usage: 145.3

DomainMember# show energywise domain

```
Name      : Manager-1
Domain    : cisco
Protocol  : udp
IP        : 2.2.2.21
Port      : 43440
```

DomainMember# show energywise events

```
-----
Sequence: 343550446 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
-----
Sequence: 345394888 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
-----
Sequence: 343550449 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
-----
Sequence: 345394889 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
-----
Sequence: 343550450 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
<output truncated>
```

DomainMember# show energywise level

Interface	Name	Levels (Watts)										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
	NRGYZ-TB-09	0.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0
Gi0/27	SEP001201D75BB9	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/41	ap	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4

DomainMember# show energywise level children

Interface	Name	Levels (Watts)										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
	NRGYZ-TB-09	0.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	390.0	90.0
Gi0/1	Gi0.1	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4

■ show energywise

```

Gi0/2      Gi0.2      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/3      Gi0.3      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/4      Gi0.4      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/5      Gi0.5      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/6      Gi0.6      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/7      Gi0.7      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
Gi0/8      Gi0.8      0.0  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4  15.4
<output truncated>

```

DomainMember# **show energywise level current**

Interface	Name	Level	Value
-----	----	-----	-----
	NRGYZ-TB-09	10	390.0 (W)
Gi0/27	SEP001201D75BB9	10	15.4 (W)
Gi0/41	ap	10	15.4 (W)

DomainMember# **show energywise level current children**

Interface	Name	Level	Value
-----	----	-----	-----
	NRGYZ-TB-09	10	390.0 (W)
Gi0/1	Gi0.1	10	15.4 (W)
Gi0/2	Gi0.2	10	15.4 (W)
Gi0/3	Gi0.3	10	15.4 (W)
Gi0/4	Gi0.4	10	15.4 (W)
Gi0/5	Gi0.5	10	15.4 (W)
Gi0/6	Gi0.6	10	15.4 (W)
Gi0/7	Gi0.7	10	15.4 (W)
Gi0/8	Gi0.8	10	15.4 (W)
Gi0/9	Gi0.9	10	15.4 (W)
Gi0/10	Gi0.10	10	15.4 (W)

<output truncated>

DomainMember# **show energywise level delta**

Levels (Watts)

Interface	Name	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----	----	-----										
NRGYZ-TB-09		-130.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0
Gi0/27	SEP001201D75BB9	-6.3	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
Gi0/41	ap	-9.0	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4

DomainMember# **show energywise level delta children**

Levels (Watts)

Interface	Name	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----	----	-----										
	NRGYZ-TB-09	-130.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0
Gi0/1	Gi0.1	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/2	Gi0.2	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/3	Gi0.3	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/4	Gi0.4	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/5	Gi0.5	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/6	Gi0.6	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/7	Gi0.7	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
Gi0/8	Gi0.8	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4

<output truncated>

DomainMember# **show energywise neighbors**

Capability Codes: R - Router, T - Trans Bridge, B - Source Route Bridge

S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater, P - Phone, U - Unknown

Id	Neighbor Name	Ip:Port	Prot	Capability
---	-----	-----	----	-----
1	Router A	10.0.0.11:43440	udp	R
2	Switch A	10.0.0.12:43440	cdp	S I
3	Router B	10.0.0.36:43440	cdp	U

```

4   IP_phone A                10.0.0.14:43440      udp    U
5   Switch B                  10.0.0.4:43440      udp    R
6   Switch C                  10.0.0.5:43440      udp    R
7   Router C                  10.0.0.7:43440      udp    R

```

energywise level level recurrence importance importance at minute hour day_of_month month day_of_week インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用する場合 :

```

DomainMember# show energywise recurrences
Id      Interface  Class Action Lvl Cron/Time-range
--      -
1       Gi0/1      QUERY SET   10  minutes: 34 hour: 6 day: * month: * weekday:*

```

energywise level level recurrence importance importance time-range time-range-name インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用する場合 :

```

DomainMember# show energywise recurrences
Id      Addr       Class Action Lvl Cron/Time-range
--      -
1       Gi0/1      QUERY SET   10  tt-range
2       Gi0/2      QUERY SET   10  periodicdaily
4       Gi0/3      QUERY SET   10  absolutestart06:34**2009

```

```

DomainMember# show energywise statistics
Children: 2 Errors: 0 Drops: 3 Events: 3256

```

```

DomainMember# show energywise usage
Interface  Name                Usage      Category  Caliber
-----
NRGYZ-TB-09                130.0 (W)  consumer  max
Gi0/27      SEP001201D75BB9    6.3 (W)   consumer  trusted
Gi0/41      ap                  9.0 (W)   consumer  trusted

```

```
Total Displayed: 3      Usage: 145.3
```

```

DomainMember# show energywise usage child
Interface  Name                Usage      Category  Caliber
-----
NRGYZ-TB-09                130.0 (W)  consumer  max
Gi0/1      Gi0.1               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/2      Gi0.2               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/3      Gi0.3               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/4      Gi0.4               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/5      Gi0.5               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/6      Gi0.6               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/7      Gi0.7               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/8      Gi0.8               0.0 (W)   consumer  presumed
Gi0/9      Gi0.9               0.0 (W)   consumer  presumed

```

```
<output truncated>
```

```
Total Displayed: 48      Usage: 145.3
```

```

DomainMember# show energywise version
EnergyWise is Enabled
IOS Version: 12.2(n)xx
EnergyWise Specification: (rel2_7)n.0.n

```

■ show energywise

関連コマンド

コマンド	説明
energywise (グローバル コンフィギュレーション)	ドメイン メンバーで EnergyWise をイネーブルにして設定します。
energywise (インターフェイス コンフィギュレーション)	PoE ポート上で EnergyWise を設定します。